



AsReader PADDLE-Type (ASR-P252B)

バーコード設定マニュアル

株式会社アスタリスク

Ver. 1.2

※機能修正などにより、予告無く修正されることがあります。

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第 1.0 版	2023/11/11	初版発行
第 1.1 版	2023/12/15	1.デコードエリアの追加 2.サポートしない設定バーコードの削除
第 1.2 版	2024/1/5	1.工場出荷時設定に戻すの削除 2. Febraban バーコードの出力遅延の削除 3.データパッケージの削除

各種パラメータの設定にあたって

パラメータの設定をする際は、バッテリーの電量が十分である状態で行ってください。

パラメータの変更の方法

このバーコード設定マニュアルから、適切なバーコードを選んで読み取ってください。新しい設定は AsReader に保存されます。

バーコード設定変更手順

1. AsReader をスマートデバイス (iOS/Android/Windows) と接続します。
2. スマートデバイスにある AsReader と合わせて使用するアプリケーションを起動します。例：AsReader demo app。
3. 「設定開始」バーコードを読み取りします。
4. 変更したい項目の設定バーコードを読み取ります。
*設定バーコードを読み取時、スマートデバイスに起動しているアプリケーションに何も表示しません。
5. 「設定完了」または設定バーコード以外の任意バーコードを読み取ると、設定は完了です。



設定開始



設定完了

設定バーコード表示例



シリアルコマンド

*有効

機能またはオプション

*はデフォルト値を示します

目次

1. デフォルト設定に戻す	1
1.1. カスタム初期設定登録	1
2. デフォルト設定リスト	1
3. 基本設定	1
3.1. デコードエリア	1
4. バーコードパラメータの設定	1
4.1. 一般設定	1
4.1.1. 全種類バーコード読取有効	1
4.1.2. 全種類バーコード読取無効	1
4.1.3. 全種類一次元バーコード読取有効	1
4.1.4. 全種類一次元バーコード読取無効	1
4.1.5. 全種類二次元バーコード読取有効	2
4.1.6. 全種類二次元バーコード読取無効	2
4.1.7. 括弧で囲む GS1 アプリケーション識別子 (GS1 AIs)	2
4.2. Code 128	3
4.2.1. 工場出荷時設定に戻す	3
4.2.2. 読取有効/無効	3
4.2.3. バーコードの読取長さの設定	3
4.2.4. チェックデジットの送信	4
4.2.5. FNC1 の出力	4
4.3. EAN-8	5
4.3.1. 工場出荷時設定に戻す	5
4.3.2. 読取有効/無効	5
4.3.3. チェックデジットの送信	5
4.3.4. 2桁の展開コード	5
4.3.5. 5桁の展開コード	6
4.3.6. 展開コードの追加	7
4.4. EAN-13	7
4.4.1. 工場出荷時設定に戻す	7

4.4.2.	読取有効/無効	7
4.4.3.	チェックデジットの送信	7
4.4.4.	2桁の展開コード	8
4.4.5.	5桁の展開コード	8
4.4.6.	展開コードの追加	9
4.4.7.	EAN-13 290 でスタートの場合、展開コードの追加	9
4.4.8.	EAN-13 378/379 でスタートの場合、展開コードの追加	10
4.4.9.	EAN-13 414/419 でスタートの場合、展開コードの追加	10
4.4.10.	EAN-13 434/439 でスタートの場合、展開コードの追加	10
4.4.11.	EAN-13 977 でスタートの場合、展開コードの追加	11
4.4.12.	EAN-13 978 でスタートの場合、展開コードの追加	11
4.4.13.	EAN-13 979 でスタートの場合、展開コードの追加	11
4.5.	UPC-E	12
4.5.1.	工場出荷時設定に戻す	12
4.5.2.	読取有効/無効	12
4.5.3.	チェックデジットの送信	12
4.5.4.	2桁の展開コード	13
4.5.5.	5桁の展開コード	13
4.5.6.	展開コードの追加	14
4.5.7.	先頭キャラクターの送信	14
4.6.	UPC-A	14
4.6.1.	工場出荷時設定に戻す	14
4.6.2.	読取有効/無効	15
4.6.3.	チェックデジットの送信	15
4.6.4.	2桁の展開コード	15
4.6.5.	5桁の展開コード	16
4.6.6.	展開コードの追加	16
4.6.7.	先頭キャラクターの送信	17
4.7.	Interleaved 2 of 5	17
4.7.1.	工場出荷時設定に戻す	17
4.7.2.	読取有効/無効	17

4.7.3.	バーコードの読取長さの設定	17
4.7.4.	チェック	18
4.7.5.	Febraban	19
4.8.	ITF-14	19
4.8.1.	工場出荷時設定に戻す	19
4.8.2.	読取有効/無効	19
4.9.	ITF-6	20
4.9.1.	工場出荷時設定に戻す	20
4.9.2.	読取有効/無効	20
4.10.	Matrix 2 of 5	21
4.10.1.	工場出荷時設定に戻す	21
4.10.2.	読取有効/無効	21
4.10.3.	バーコードの読取長さの設定	21
4.10.4.	チェック	22
4.11.	Code 39	22
4.11.1.	工場出荷時設定に戻す	22
4.11.2.	読取有効/無効	23
4.11.3.	バーコードの読取長さの設定	23
4.11.4.	チェック	24
4.11.5.	スタートキャラクターと終了キャラクター	24
4.11.6.	Code 39 Full ASCII	25
4.11.7.	Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	25
4.12.	CodaBar	26
4.12.1.	工場出荷時設定に戻す	26
4.12.2.	読取有効/無効	26
4.12.3.	バーコードの読取長さの設定	27
4.12.4.	チェック	27
4.12.5.	スタートキャラクターと終了キャラクター	28
4.12.6.	スタートキャラクターと終了キャラクターのフォーマット	28
4.13.	Code 93	29
4.13.1.	工場出荷時設定に戻す	29

4.13.2.	読取有効/無効.....	29
4.13.3.	バーコードの読取長さの設定.....	29
4.13.4.	チェック.....	30
4.14.	GS1-128 (UCC/EAN-128).....	30
4.14.1.	工場出荷時設定に戻す.....	30
4.14.2.	読取有効/無効.....	31
4.14.3.	バーコードの読取長さの設定.....	31
4.14.4.	チェックデジットの送信.....	31
4.14.5.	FNC1 の出力.....	32
4.15.	Code11.....	32
4.15.1.	工場出荷時設定に戻す.....	32
4.15.2.	読取有効/無効.....	32
4.15.3.	バーコードの読取長さの設定.....	33
4.15.4.	チェック.....	33
4.15.5.	チェックデジットの送信.....	34
4.16.	ISBN.....	35
4.16.1.	工場出荷時設定に戻す.....	35
4.16.2.	読取有効/無効.....	35
4.16.3.	ISBN のフォーマット.....	35
4.16.4.	2桁の展開コード.....	35
4.16.5.	5桁の展開コード.....	36
4.16.6.	展開コードの追加.....	36
4.17.	ISSN.....	37
4.17.1.	工場出荷時設定に戻す.....	37
4.17.2.	読取有効/無効.....	37
4.17.3.	2桁の展開コード.....	37
4.17.4.	5桁の展開コード.....	38
4.17.5.	展開コードの追加.....	38
4.18.	Industrial 2 of 5.....	39
4.18.1.	工場出荷時設定に戻す.....	39
4.18.2.	読取有効/無効.....	39

4.18.3.	バーコードの読取長さの設定	39
4.18.4.	チェック	40
4.19.	Plessey	40
4.19.1.	工場出荷時設定に戻す	40
4.19.2.	読取有効/無効	41
4.19.3.	バーコードの読取長さの設定	41
4.19.4.	チェック	41
4.20.	MSI Plessey	42
4.20.1.	工場出荷時設定に戻す	42
4.20.2.	読取有効/無効	42
4.20.3.	バーコードの読取長さの設定	43
4.20.4.	チェック	43
4.20.5.	チェックレジットの送信	44
4.21.	PDF417	44
4.21.1.	工場出荷時設定に戻す	44
4.21.2.	読取有効/無効	44
4.21.3.	バーコードの読取長さの設定	45
4.21.4.	PDF417 ダブルコード	45
4.21.5.	キャラクターのエンコード方式	46
4.21.6.	ECI の出力	46
4.22.	QR Code	47
4.22.1.	工場出荷時設定に戻す	47
4.22.2.	読取有効/無効	47
4.22.3.	バーコードの読取長さの設定	47
4.22.4.	QR ダブルコード	48
4.22.5.	キャラクターのエンコード方式	48
4.22.6.	ECI の出力	49
4.23.	Micro QR Code	49
4.23.1.	工場出荷時設定に戻す	49
4.23.2.	読取有効/無効	49
4.23.3.	バーコードの読取長さの設定	49

4.24.	Data Matrix.....	50
4.24.1.	工場出荷時設定に戻す.....	50
4.24.2.	読取有効/無効.....	50
4.24.3.	バーコードの読取長さの設定.....	50
4.24.4.	ダブル Data Matrix コード.....	51
4.24.5.	矩形コード.....	52
4.24.6.	キャラクターのエンコード方式.....	52
4.24.7.	ECI の出力.....	52
5.	プレフィックス/サフィックスの設定.....	1
5.1.	一般設定.....	1
5.1.1.	全てプレフィックス/サフィックスの設定.....	1
5.2.	プレフィックスの順番.....	1
5.3.	カスタムプレフィックスの追加.....	1
5.3.1.	カスタムプレフィックスの変更.....	2
5.4.	AIM ID プレフィックス.....	2
5.5.	Code ID プレフィックス.....	3
5.5.1.	工場出荷時の Code ID に戻す.....	3
5.5.2.	Code ID の変更.....	3
5.6.	カスタムサフィックスの追加.....	6
5.6.1.	カスタムサフィックスの変更.....	7
5.6.2.	パッケージフォーマット.....	7
5.7.	終了キャラクターサフィックスの追加.....	8
5.7.1.	終了キャラクターサフィックスの変更.....	8
6.	付録.....	1
6.1.	数字バーコード.....	1
6.2.	保存やキャンセル.....	3
6.3.	AIM ID リスト.....	4
6.4.	Code ID リスト.....	5
6.5.	シンボル ID リスト.....	6
6.6.	ASCII リスト.....	7

1. デフォルト設定に戻す

1.1. カスタム初期設定登録

カスタム初期設定にバーコードエンジンのすべての設定が含まれています。カスタム初期設定として登録した設定はユーザよりカスタム初期設定として設定し直ししない限り、ずっと保存されます。「カスタム初期設定」バーコードを読み取ると、カスタム初期設定モードに切り替えます。



カスタム初期設定保存



カスタム初期設定

2. デフォルト設定リスト

パラメータ名	デフォルト設定	ページ
バーコードのパラメータの設定		
全種類バーコード読取有効	-	D-1
全種類バーコード読取無効	-	D-1
全種類一次元バーコード読取有効	-	D-1
全種類一次元バーコード読取無効	-	D-1
全種類二次元バーコード読取有効	-	D-2
全種類二次元バーコード読取無効	-	D-2
括弧で囲むGS1アプリケーション識別子 (GS1 AIs)	Off	D-2
Code 128		
工場出荷時設定に戻す	-	D-3
読取有効/無効	有効	D-3
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 48 最小長さ : 1	D-3
チェックデジットの送信	送信しない	D-4
FNC1の出力	On	D-4
EAN-8		
工場出荷時設定に戻す	-	D-5
読取有効/無効	有効	D-5
チェックデジットの送信	送信	D-5
2桁の展開コード	2桁の展開コードを読取しない	D-6
5桁の展開コード	5桁の展開コードを読取しない	D-6
展開コードの追加	追加必須ではない	D-7
EAN-13		
工場出荷時設定に戻す	-	D-7
読取有効/無効	有効	D-7
チェックデジットの送信	送信	D-8
2桁の展開コード	2桁の展開コードを読取しない	D-8

5桁の展開コード	5桁の展開コードを読み取らない	D-8
展開コードの追加	追加必須ではない	D-9
EAN-13 290でスタートの場合、展開コードの追加	追加必須ではない	D-9
EAN-13 378/379でスタートの場合、展開コードの追加	追加必須ではない	D-10
EAN-13 414/419でスタートの場合、展開コードの追加	追加必須ではない	D-10
EAN-13 434/439でスタートの場合、展開コードの追加	追加必須ではない	D-10
EAN-13 977でスタートの場合、展開コードの追加	追加必須ではない	D-11
EAN-13 978でスタートの場合、展開コードの追加	追加必須ではない	D-11
EAN-13 979でスタートの場合、展開コードの追加	追加必須ではない	D-12
UPC-E		
工場出荷時設定に戻す	-	D-12
読取有効/無効	有効	D-12
チェックデジットの送信	送信	D-12
2桁の展開コード	2桁の展開コードを読み取らない	D-13
5桁の展開コード	5桁の展開コードを読み取らない	D-13
展開コードの追加	追加必須ではない	D-14
先頭キャラクターの送信	システムキャラクター送信	D-14
UPC-A		
工場出荷時設定に戻す	-	D-15
読取有効/無効	有効	D-15
チェックデジットの送信	送信	D-15
2桁の展開コード	2桁の展開コードを読み取らない	D-15
5桁の展開コード	5桁の展開コードを読み取らない	D-16
展開コードの追加	追加必須ではない	D-16
先頭キャラクターの送信	システムキャラクター送信	D-17
Interleaved 2 of 5		
工場出荷時設定に戻す	-	D-17
読取有効/無効	有効	D-17
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 80 最小長さ : 6	D-18
チェック	無効	D-18

Febraban	無効	D-19
ITF-14		
工場出荷時設定に戻す	-	D-19
読取有効/無効	無効	D-20
ITF-6		
工場出荷時設定に戻す	-	D-20
読取有効/無効	無効	D-20
Matrix 2 of 5		
工場出荷時設定に戻す	-	D-21
読取有効/無効	有効	D-21
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 80 最小長さ : 4	D-21
チェック	無効	D-22
Code 39		
工場出荷時設定に戻す	-	D-23
読取有効/無効	有効	D-23
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 48 最小長さ : 1	D-23
チェック	無効	D-24
スタートキャラクターと終了キャラクター	送信しない	D-24
Code 39 Full ASCII	無効	D-25
Code 32 Pharmaceutical (PARAF) 読取有効/無効	無効	D-25
Code 32 のプレフィックス	無効	D-26
Code 32のスタートキャラクターと終了キャラクター	送信しない	D-26
Code 32のチェックデジット	送信しない	D-26
Codabar		
工場出荷時設定に戻す	-	D-26
読取有効/無効	有効	D-27
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 60 最小長さ : 2	D-27
チェック	無効	D-27

スタートキャラクターと終了キャラクター	送信しない	D-28
スタートキャラクターと終了キャラクターのフォーマット	ABCD/ABCD	D-28
Code 93		
工場出荷時設定に戻す	-	D-29
読取有効/無効	無効	D-29
バーコードの読取長さの設定	最大長さ：48 最小長さ：1	D-29
チェック	有効、チェックデジットを送信しない	D-30
GS1-128(UCC/EAN-128)		
工場出荷時設定に戻す	-	D-31
読取有効/無効	有効	D-31
バーコードの読取長さの設定	最大長さ：48 最小長さ：1	D-31
チェックデジットの送信	送信しない	D-32
FNC1の出力	On	D-32
Code 11		
工場出荷時設定に戻す	-	D-32
読取有効/無効	無効	D-33
バーコードの読取長さの設定	最大長さ：48 最小長さ：4	D-33
チェック	無効	D-33
チェックデジットの送信	送信	D-34
ISBN		
工場出荷時設定に戻す	-	D-35
読取有効/無効	無効	D-35
ISBNのフォーマット	ISBN-10	D-35
2桁の展開コード	2桁の展開コードを読取しない	D-36
5桁の展開コード	5桁の展開コードを読取しない	D-36
展開コードの追加	追加必須ではない	D-37
ISSN		
工場出荷時設定に戻す	-	D-37

読取有効/無効	無効	D-37
2桁の展開コード	2桁の展開コードを読取しない	D-37
5桁の展開コード	5桁の展開コードを読取しない	D-38
展開コードの追加	追加必須ではない	D-38
Industrial 25		
工場出荷時設定に戻す	-	D-39
読取有効/無効	無効	D-39
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 48 最小長さ : 6	D-39
チェック	無効	D-40
Plessey		
工場出荷時設定に戻す	-	D-41
読取有効/無効	無効	D-41
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 48 最小長さ : 4	D-41
チェック	無効	D-42
MSI-Plessey		
工場出荷時設定に戻す	-	D-42
読取有効/無効	無効	D-43
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 48 最小長さ : 4	D-43
チェック	チェックデジット1桁 : MOD10	D-44
チェックデジットの送信	送信	D-44
PDF417		
工場出荷時設定に戻す	-	D-45
読取有効/無効	有効	D-45
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 6144 最小長さ : 1	D-45
ダブルPDF417コード	シングルPDF417コードを読取	D-46
キャラクターのエンコード方式	デフォルト	D-46
ECIの出力	有効	D-47

QR Code		
工場出荷時設定に戻す	-	D-47
読取有効/無効	有効	D-47
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 6144 最小長さ : 1	D-47
ダブルQRコード	シングルQRコードを読取	D-48
キャラクターのエンコード方式	デフォルト	D-49
ECIの出力	有効	D-49
Micro QR Code		
工場出荷時設定に戻す	-	D-49
読取有効/無効	無効	D-49
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 6144 最小長さ : 1	D-50
Data Matrix		
工場出荷時設定に戻す	-	D-50
読取有効/無効	有効	D-51
バーコードの読取長さの設定	最大長さ : 6144 最小長さ : 1	D-51
ダブルData Matrixコード	シングル読取	D-51
矩陣コード	有効	D-52
キャラクターのエンコード方式	デフォルト	D-52
ECIの出力	有効	D-53

3. 基本設定

3.1. デコードエリア

全エリアのデコード：読取範囲内全てのバーコードをデコードして、最初のバーコードデータのみ出力します。

中心エリアのデコード：読取中心エリアのバーコードのみデコードします。



*全エリアのデコード



中心エリアのデコード

4. バーコードパラメータの設定

4.1. 一般設定

4.1.1. 全種類バーコード読取有効

「全種類バーコード読取有効」を読み取ると、全てのバーコードを読めるようになります。



全種類バーコード読取有効

4.1.2. 全種類バーコード読取無効

「全種類バーコード読取無効」を読み取ると、設定バーコード以外のバーコードを全部読めなくなります。



全種類バーコード読取無効

4.1.3. 全種類一次元バーコード読取有効

「全種類一次元バーコード読取有効」を読み取ると、全ての一次元バーコードを読取できます。



全種類一次元バーコード読取有効

4.1.4. 全種類一次元バーコード読取無効

「全種類一次元バーコード読取無効」を読み取ると、設定バーコード以外に全ての一次元バーコードを読めなくなります。



全種類一次元バーコード読取無効

4.1.5. 全種類二次元バーコード読取有効

「全種類二次元バーコード読取有効」を読み取ると、全ての二次元バーコードを読取できます。



全種類二次元バーコード読取有効

4.1.6. 全種類二次元バーコード読取無効

「全種類二次元バーコード読取無効」を読み取ると、設定バーコード以外に全ての二次元バーコードを読めなくなります。



全種類二次元バーコード読取無効

4.1.7. 括弧で囲むGS1アプリケーション識別子 (GS1 AIs)

「GS1 アプリケーション識別子」を On にすると、GS1 アプリケーション識別子の左右に括弧を追加します。



*Off



On

例：



GS1 アプリケーション識別子を On にすると、出力されたバーコードデータは「(01)00614141999996(10)10ABCEDF123456」になります。

GS1 アプリケーション識別子を Off にすると、出力されたバーコードデータは「01006141419999961010ABCEDF123456」になります。

4.2. Code 128

4.2.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.2.2. 読取有効／無効



*有効



無効

注：Code 128 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.2.3. バーコードの読取長さの設定

設定した最小から最大間の長さの Code 128 バーコードを読み取るように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次元バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読取できます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Code128 バーコードを読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「最小長さ」バーコードを読取
3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読取
6. 数字バーコード「1」を読取
7. 数字バーコード「2」を読取
8. 「保存」バーコードを読取
9. 「設定完了」バーコードを読取

4.2.4. チェックデジットの送信



送信



*送信しない

4.2.5. FNC1の出力



Off



*On

4.3. EAN-8

4.3.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.3.2. 読取有効/無効



*有効



無効

注：EAN-8 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.3.3. チェックデジットの送信

EAN-8 バーコードは 8 バイトに固定されます。その中の最後の 1 バイトはチェックデジットになります。



*送信



送信しない

4.3.4. 2桁の展開コード

2桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された2桁の数字バーコードです。下図は2桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は2桁の展開コード:



*2桁の展開コードを読み取らない



2桁の展開コードを読み取

4.3.5. 5桁の展開コード

5桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された5桁の数字バーコードです。下図は5桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は5桁の展開コード:



*5桁の展開コードを読み取らない



5桁の展開コードを読み取

注:「2桁の展開コードを読み取」または「5桁の展開コードを読み取」を設定した場合、普通のバーコードも展開コードを付したバーコードも読み取れます。

「2桁の展開コードを読み取らない」または「5桁の展開コードを読み取らない」を設定した場合、普通のバーコードデータを読み取れますが、

展開コードを読取できません。

4.3.6. 展開コードの追加

「2桁の展開コードを読取または「5桁の展開コードを読取」を設定後に、「展開コードの追加」を「追加必須」に設定した場合、展開コードを含む EAN-8 バーコードしか読み取れません。



*追加必須ではない



追加必須

4.4. EAN-13

4.4.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.4.2. 読取有効/無効



*有効



無効

注：EAN-13 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.4.3. チェックデジットの送信



@E13CHK2

*送信



@E13CHK1

送信しない

4.4.4. 2桁の展開コード

2桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された2桁の数字バーコードです。下図は2桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は2桁の展開コード：



@E13AD20

*2桁の展開コードを読み取らない



@E13AD21

2桁の展開コードを読み取

4.4.5. 5桁の展開コード

5桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された5桁の数字バーコードです。下図は5桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は5桁の展開コード：





*5桁の展開コードを読取しない



5桁の展開コードを読取

注：「2桁の展開コードを読取または5桁の展開コードを読取を設定した場合、普通のバーコードも展開コードを附加したバーコードも読取できます。

「2桁の展開コードを読取しないまたは5桁の展開コードを読取しないを設定した場合、普通のバーコードデータを読取できますが、展開コードを読取できません。

4.4.6. 展開コードの追加

「2桁の展開コードを読取または5桁の展開コードを読取を設定後に、「展開コードの追加」を「追加必須」に設定した場合、展開コードを含む EAN-13 バーコードしか読み取れません。



*追加必須ではない



追加必須

4.4.7. EAN-13 290でスタートの場合、展開コードの追加

「2桁の展開コードを読取または5桁の展開コードを読取を設定後に、「展開コードの追加」を「追加必須」に設定した場合、展開コードを含む EAN-13 バーコードしか読み取れません。



*追加必須ではない



追加必須

4.4.8. EAN-13 378/379でスタートの場合、展開コードの追加

追加必須 : 378 または 379 でスタートの EAN-13 バーコードを読み取る場合、展開コードを追加した EAN-13 バーコードしか読み取れません。

追加必須ではない : 展開コードの追加を追加必須ではないに設定する場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取れます。



* 追加必須ではない



追加必須

4.4.9. EAN-13 414/419 でスタートの場合、展開コードの追加

追加必須 : 414 または 419 でスタートの EAN-13 バーコードを読み取る場合、展開コードを追加した EAN-13 バーコードしか読み取れません。

追加必須ではない : 展開コードの追加を追加必須ではないに設定する場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取れます。



* 追加必須ではない



追加必須

4.4.10. EAN-13 434/439でスタートの場合、展開コードの追加

追加必須 : 434 または 439 でスタートの EAN-13 バーコードを読み取る場合、展開コードを追加した EAN-13 バーコードしか読み取れません。

追加必須ではない : 展開コードの追加を追加必須ではないに設定する場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取れます。



* 追加必須ではない



追加必須

4.4.11. EAN-13 977でスタートの場合、展開コードの追加

追加必須 : 977 でスタートの EAN-13 バーコードを読み取る場合、展開コードを追加した EAN-13 バーコードしか読み取れません。

追加必須ではない : 展開コードの追加を追加必須ではないに設定する場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取れます。



* 追加必須ではない



追加必須

4.4.12. EAN-13 978でスタートの場合、展開コードの追加

追加必須 : 978 でスタートの EAN-13 バーコードを読み取る場合、展開コードを追加した EAN-13 バーコードしか読み取れません。

追加必須ではない : 展開コードの追加を追加必須ではないに設定する場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取れます。



* 追加必須ではない



追加必須

4.4.13. EAN-13 979でスタートの場合、展開コードの追加

追加必須 : 979 でスタートの EAN-13 バーコードを読み取る場合、展開コードを追加した EAN-13 バーコードしか読み取れません。

追加必須ではない : 展開コードの追加を追加必須ではないに設定する場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取れます。



@E139790

*追加必須ではない



@E139791

追加必須

4.5. UPC-E

4.5.1. 工場出荷時設定に戻す



@UPEDEF

工場出荷時設定に戻す

4.5.2. 読取有効/無効



@UPEENA1

*有効



@UPEENA0

無効

注：UPC-E バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.5.3. チェックデジットの送信



@UPECHK2

*送信



@UPECHK1

送信しない

4.5.4. 2桁の展開コード

2桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された2桁の数字バーコードです。下図は2桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は2桁の展開コード：



*2桁の展開コードを読取しない



2桁の展開コードを読取

4.5.5. 5桁の展開コード

5桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された5桁の数字バーコードです。下図は5桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は5桁の展開コード：



*5桁の展開コードを読取しない



5桁の展開コードを読取

注：「2桁の展開コードを読取」または「5桁の展開コードを読取」を設定した場合、普通のバーコードも展開コードを追加したバーコードも読取できます。

「2桁の展開コードを読取しない」または「5桁の展開コードを読取しない」を設定した場合、普通のバーコードデータを読取できますが、展開コードを読取できません。

4.5.6. 展開コードの追加

「2桁の展開コードを読取」または「5桁の展開コードを読取」を設定後に、「展開コードの追加」を「追加必須」に設定した場合、展開コードを含む UPC-E バーコードしか読み取れません。



*追加必須ではない



追加必須

4.5.7. 先頭キャラクターの送信

先頭キャラクターは UPC キャラクターの一部です。国コード（アメリカ：0）とシステムキャラクター（0または1）が含まれています。



*システムキャラクター送信



送信しない（国コードとシステムキャラクター）



国コード+システムキャラクター送信

4.6. UPC-A

4.6.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.6.2. 読取有効／無効



*有効



無効

注：UPC-A バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.6.3. チェックデジットの送信



*送信



送信しない

4.6.4. 2桁の展開コード

2桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された2桁の数字バーコードです。下図は2桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は2桁の展開コード：



*2桁の展開コードを読取らない



2 桁の展開コードを読取

4.6.5. 5桁の展開コード

5 桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された 5 桁の数字バーコードです。下図は 5 桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は 5 桁の展開コード：



* 5 桁の展開コードを読取しない



5 桁の展開コードを読取

注：「2 桁の展開コードを読取」または「5 桁の展開コードを読取」を設定した場合、普通のバーコードも展開コードを追加したバーコードも読取できます。

「2 桁の展開コードを読取しない」または「5 桁の展開コードを読取しない」を設定した場合、普通のバーコードデータを読取できますが、展開コードを読取できません。

4.6.6. 展開コードの追加

「2 桁の展開コードを読取」または「5 桁の展開コードを読取」を設定後に、「展開コードの追加」を「追加必須」に設定した場合、展開コードを含む UPC-A バーコードしか読み取れません。



* 追加必須ではない



追加必須

4.6.7. 先頭キャラクターの送信

先頭キャラクターは UPC キャラクターの一部です。国コード（アメリカ：0）とシステムキャラクター（0または1）が含まれています。



送信しない（国コードとシステムキャラクター）



*システムキャラクター送信



国コード+システムキャラクター送信

4.7. Interleaved 2 of 5

4.7.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.7.2. 読取有効／無効



*有効



無効

注：Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.7.3. バーコードの読取長さの設定

設定した最小から最大間の長さの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取りできます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Interleaved 2 of 5 バーコード読み取るように設定：

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取 | 6. 数字バーコード「1」を読み取 |
| 2. 「最小長さ」バーコードを読み取 | 7. 数字バーコード「2」を読み取 |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取（付録-数字バーコードを参照） | 8. 「保存」バーコードを読み取 |
| 4. 「保存」バーコードを読み取（付録-保存やキャンセルを参照） | 9. 「設定完了」バーコードを読み取 |
| 5. 「最大長さ」バーコードを読み取 | |

4.7.4. チェック

Interleaved 2 of 5 のバーコードデータにチェックデジットを強制的に含めないです。チェックデジットがある場合、最後の 1 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てデータで計算された値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

Interleaved 2 of 5 バーコードはチェックデジットを含めて、バーコードデータは偶数桁になります。もしデータの桁数は奇数桁の場合、データの最初に 0 を補充されます。



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトを引いてから、最小の読取長さより小さい場合、読取失敗になります。

例：Interleaved 2 of 5 の最小読取長さを 4 バイト、**チェックデジットを送信しない**に設定した場合、総長さは 4 バイトの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.7.5. Febraban



*無効



有効、情報を展開しない



有効、情報を展開

4.8. ITF-14

4.8.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.8.2. 読取有効/無効



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：ITF-14 を読取有効、Interleaved 2 of 5 を読取無効に設定した場合、ITF-14 優先のルールで、長さは 14 バイト目つ最後の 1 バイトはチェックデジットの Interleaved 2 of 5 バーコードを読取でき、その他のタイプの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取れない場合があります。

4.9. ITF-6

4.9.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.9.2. 読取有効／無効



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：ITF-6 を読取有効、Interleaved 2 of 5 を読取無効に設定した場合、ITF-6 優先のルールで、長さは 6 バイト目つ最後の 1 バイトはチェックデジットの Interleaved 2 of 5 バーコードを読取でき、その他のタイプの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取れない場合があります。

4.10. Matrix 2 of 5

4.10.1. 工場出荷時設定に戻す



@M25DEF

工場出荷時設定に戻す

4.10.2. 読取有効／無効



@M25ENA1

*有効



@M25ENA0

無効

注：Matrix 2 of 5 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.10.3. バーコードの読取長さの設定

設定した最小から最大間の長さの Matrix 2 of 5 バーコードを読み取れるように設定できます。



@M25MIN

最小長さ



@M25MAX

最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのみ読取できます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Matrix 2 of 5 バーコード読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読取
6. 数字バーコード「1」を読取

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 2. 「最小長さ」バーコードを読取 | 7. 数字バーコード「2」を読取 |
| 3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照） | 8. 「保存」バーコードを読取 |
| 4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照） | 9. 「設定完了」バーコードを読取 |
| 5. 「最大長さ」バーコードを読取 | |

4.10.4. チェック

Matrix 2 of 5 のバーコードデータにチェックデジットを強制的に含まないと、チェックデジットがある場合、最後の 1 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てデータで計算された値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトを引いてから、最小の読取長さより小さい場合、読取失敗になります。

例：Matrix 2 of 5 の最小読取長さを 4 バイトに設定、チェックデジットを送信しない場合、総長さは 4 バイトの Matrix 2 of 5 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.11. Code 39

4.11.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.11.2. 読取有効／無効



*有効



無効

注：Code 39 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.11.3. バーコードの読取長さの設定

設定した最小から最大間の長さの Code 39 バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取りできます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Code 39 バーコード読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「最小長さ」バーコードを読取
3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読取
6. 数字バーコード「1」を読取
7. 数字バーコード「2」を読取
8. 「保存」バーコードを読取
9. 「設定完了」バーコードを読取

4.11.4. チェック

Code 39 のバーコードデータにチェックデジットを強制的に含まないです。チェックデジットがある場合、最後の 1 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てデータで計算された値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトを引いてから、最小の読取長さより小さい場合、読取失敗になります。

例：Code 39 の最小読取長さを 4 バイトに設定、チェックデジットを送信しない場合、総長さは 4 バイトの Code 39 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.11.5. スタートキャラクターと終了キャラクター

読取成功後にスタートキャラクターと終了キャラクターも送信するかどうかを設定できます。



*送信しない



送信

4.11.6. Code 39 Full ASCII

有効に設定する場合、完全の ASCII キャラクターを読み取れます。



*無効



有効

4.11.7. Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceutical はイタリアの薬局で使用されている Code 39 の一つの形式です。このバーコードも PARAF だと呼ばれています。

Code 32 のフォーマット : * + A + 8桁の数字 + 1桁チェックデジット+ *。

4.11.7.1. 読取有効/無効



*無効



有効

注 : Code 39 を読取有効に設定、且つチェックデジットはない場合のみ Code 32 Pharmaceutical を読み取れます。

4.11.7.2. Code 32 のプレフィックス



*無効



有効

4.11.7.3. Code 32 のスタートキャラクターと終了キャラクター



@C39T320

*送信しない



@C39T321

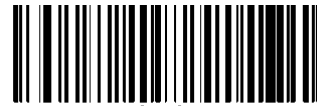
送信

4.11.7.4. Code 32 のチェックデジット



@C39C320

*送信しない



@C39C321

送信

4.12. CodaBar

4.12.1. 工場出荷時設定に戻す



@CBADEF

工場出荷時設定に戻す

4.12.2. 読取有効/無効



@CBAENA1

*有効



@CBAENA0

無効

注：Codabar バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.12.3. バーコードの読取長さの設定

設定した最小から最大間の長さの Codabar バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取りできます。

4.12.4. チェック

Codabar のバーコードデータにチェックデジットを強制的に含めないです。チェックデジットがある場合、最後の 1 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てデータで計算された値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



* 無効



有効、チェックデジットを送信しない



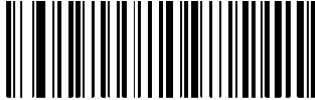
有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトを引いてから、最小の読取長さより小さい場合、読取失敗になります。

例：Codabar の最小読取長さを 4 バイトに設定、チェックデジットを送信しない場合、総長さは 4 バイトの Codabar バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

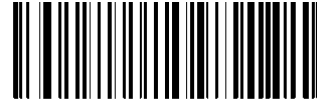
4.12.5. スタートキャラクターと終了キャラクター

Codabar の前後に一つバイトずつのデータはスタートキャラクターと終了キャラクターとします。スタートキャラクターと終了キャラクターは A、B、C、D 中の一つです。バーコードを読取後にスタートキャラクターと終了キャラクターも送信するかどうかを設定できます。



@CBATSC0

*送信しない



@CBATSC1

送信

4.12.6. スタートキャラクターと終了キャラクターのフォーマット



@CBASCF0

*ABCD/ABCD



@CBASCF1

ABCD/TN *E



@CBASCF2

abcd/abcd



@CBASCF3

abcd/tn *e

4.13. Code 93

4.13.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.13.2. 読取有効／無効



有効



*無効

注：Code 93 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.13.3. バーコードの読取長さの設定

設定した最小から最大間の長さの Code 93 バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取りできます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Code 93 バーコード読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読み取
2. 「最小長さ」バーコードを読み取
3. 数字バーコード「8」を読み取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読み取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読み取
6. 数字バーコード「1」を読み取
7. 数字バーコード「2」を読み取
8. 「保存」バーコードを読み取
9. 「設定完了」バーコードを読み取

4.13.4. チェック

Code 93 のバーコードデータにチェックデジットを強制的に含めないです。チェックデジットがある場合、最後の 2 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てデータで計算された値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 2 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 2 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



無効



*有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 2 バイトを引いてから、最小の読取長さより小さい場合、読取失敗になります。

例：Code 93 の最小読取長さを 4 バイトに設定、チェックデジットを送信しない場合、総長さは 4 バイトの Code 93 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.14. GS1-128 (UCC/EAN-128)

4.14.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.14.2. 読取有効／無効



*有効



無効

注：GS1-128 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.14.3. バーコードの読取長さの設定

長さは設定した最小から最大間の GS1-128 バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取りできます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの GS1-128 バーコード読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「最小長さ」バーコードを読取
3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読取
6. 数字バーコード「1」を読取
7. 数字バーコード「2」を読取
8. 「保存」バーコードを読取
9. 「設定完了」バーコードを読取

4.14.4. チェックデジットの送信



@GS1CHK2

送信



@GS1CHK1

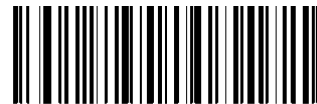
*送信しない

4.14.5. FNC1の出力



@GS1FNC0

Off



@GS1FNC1

*On

4.15. Code11

4.15.1. 工場出荷時設定に戻す



@C11DEF

工場出荷時設定に戻す

4.15.2. 読取有効/無効



@C11ENA1

有効



@C11ENA0

*無効

注：Code 11 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.15.3. バーコードの読取長さの設定

長さは設定した最小から最大間の Code 11 バーコードを読み取れるように設定できます



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取りできます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Code 11 バーコード読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「最小長さ」バーコードを読取
3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読取
6. 数字バーコード「1」を読取
7. 数字バーコード「2」を読取
8. 「保存」バーコードを読取
9. 「設定完了」バーコードを読取

4.15.4. チェック

Code 11 のバーコードデータにチェックデジットを強制的に含めないです。チェックデジットがある場合、最後の 1 桁また 2 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てデータで計算された値で、データの正確性をチェックできます。

無効に設定：全てのバーコードデータを出力されます。



*無効



チェックデジット 1 桁：MOD11



チェックデジット2桁: MOD11/MOD11



チェックデジット2桁: MOD11/MOD9



MOD11 シングルチェック (Len<=10),
MOD11/MOD11 ダブルチェック(Len>10)



MOD11 シングルチェック(Len<=10),
MOD11/MOD9 ダブルチェック(Len>10)

4.15.5. チェックデジットの送信

Codabar の前後に一つバイトずつのデータはスタートキャラクターと終了キャラクターとします。スタートキャラクターと終了キャラクターは A、B、C、D 中の一つです。バーコードを読取後にスタートキャラクターと終了キャラクターも送信するかどうかを設定できます。



送信しない



*送信

注: 有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さからチェックデジットを引いてから、最小の読取長さより小さい場合、読取失敗になります。

例: Code 11 の最小読取長さを 4 バイトに設定、チェックデジットを送信しない場合、総長さは 4 バイトの Code 11 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.16. ISBN

4.16.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.16.2. 読取有効／無効



有効



*無効

注：ISBN バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.16.3. ISBNのフォーマット



*ISBN-10



ISBN-13

4.16.4. 2桁の展開コード

2桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された2桁の数字バーコードです。下図は2桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は2桁の展開コード：



*2桁の展開コードを読取しない



2桁の展開コードを読取

4.16.5. 5桁の展開コード

5桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された5桁の数字バーコードです。下図は5桁の展開コードを追加されたバーコードとなります。左側は普通のバーコード、右側は5桁の展開コード：



*5桁の展開コードを読取しない



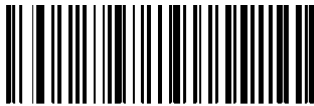
5桁の展開コードを読取

注：「2桁の展開コードを読取」または「5桁の展開コードを読取」を設定した場合、普通のバーコードも展開コードを追加したバーコードも読取できます。

「2桁の展開コードを読取しない」または「5桁の展開コードを読取しない」を設定した場合、普通のバーコードデータを読取できますが、展開コードを読取できません。

4.16.6. 展開コードの追加

「2桁の展開コードを読取」または「5桁の展開コードを読取」を設定後に、「展開コードの追加」を「追加」に設定した場合、展開コードを含む ISBN バーコードしか読み取れません。



@SBREQ0
*追加必須ではない



@SBREQ1
追加必須

4.17. ISSN

4.17.1. 工場出荷時設定に戻す



@ISSDEF
工場出荷時設定に戻す

4.17.2. 読取有効/無効



@ISSENA1
有効



@ISSENA0
*無効

注：ISSN バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.17.3. 2桁の展開コード

2桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された2桁の数字バーコードです。下図は2桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は2桁の展開コード：



@ISSAD20

*2桁の展開コードを読取しない



2桁の展開コード読取

4.17.4. 5桁の展開コード

5桁の展開コードは普通のバーコードの最後に追加された5桁の数字バーコードです。下図は5桁の展開コードを追加されたバーコードになります。左側は普通のバーコード、右側は5桁の展開コード：



*5桁の展開コードを読取しない



5桁の展開コードを読取

注：「2桁の展開コードを読取または「5桁の展開コードを読取」を設定した場合、普通のバーコードも展開コードを追加したバーコードも読取できます。

「2桁の展開コードを読取しない」または「5桁の展開コードを読取しない」を設定した場合、普通のバーコードデータを読取できますが、展開コードを読取できません。

4.17.5. 展開コードの追加

「2桁の展開コードを読取または「5桁の展開コードを読取」を設定後に、「展開コードの追加」を「追加必須」に設定した場合、展開コードを含む ISSN バーコードしか読み取れません。



*追加必須ではない



追加必須

4.18. Industrial 2 of 5

4.18.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.18.2. 読取有効／無効



有効



*無効

注：Industrial 25 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.18.3. バーコードの読取長さの設定

長さは設定した最小から最大間の Industrial 25 バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取りできます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Industrial 25 バーコード読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「最小長さ」バーコードを読取
3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読取
6. 数字バーコード「1」を読取
7. 数字バーコード「2」を読取
8. 「保存」バーコードを読取
9. 「設定完了」バーコードを読取

4.18.4. チェック

Industrial 25 のバーコードデータにチェックデジットを強制的に含まないです。チェックデジットがある場合、最後の 1 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てデータで計算された値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトのチェックデジットを引いてから、最小の読取長さより小さい場合、読取失敗になります。

例：Industrial 25 の最小読取長さを 4 バイトに設定、チェックデジットを送信しない場合、総長さは 4 バイトの Industrial 25 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.19. Plessey

4.19.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.19.2. 読取有効／無効



有効



*無効

注：Plessey バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.19.3. バーコードの読取長さの設定

長さは設定した最小から最大間の Plessey バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取りできます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Plessey バーコードを読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「最小長さ」バーコードを読取
3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読取
6. 数字バーコード「1」を読取
7. 数字バーコード「2」を読取
8. 「保存」バーコードを読取
9. 「設定完了」バーコードを読取

4.19.4. チェック

Plessey のバーコードデータにチェックデジットを強制的に含まないです。チェックデジットがある場合、最後の 2 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てデータで計算された値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 2 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 2 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



* 無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 2 バイトのチェックデジットを引いてから、最小の読取長さより小さい場合、読取失敗になります。

例：Plessey の最小読取長さを 4 バイトに設定、チェックデジットを送信しない場合、総長さは 4 バイトの Plessey バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.20. MSI Plessey

4.20.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.20.2. 読取有効／無効



有効



*無効

注：MSI-Plessey バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.20.3. バーコードの読取長さの設定

長さは設定した最小から最大間の MSI-Plessey バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大長さは最小長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取れます。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの MSI-Plessey バーコードを読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「最小長さ」バーコードを読取
3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読取
6. 数字バーコード「1」を読取
7. 数字バーコード「2」を読取
8. 「保存」バーコードを読取
9. 「設定完了」バーコードを読取

4.20.4. チェック

MSI-Plessey のバーコードデータにチェックデジットを強制的に含みません。チェックデジットがある場合、最後の 1 桁または 2 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てデータで計算された値で、データの正確性をチェックできます。



無効



*チェックデジット1桁 : MOD10



チェックデジット2桁 : MOD10/MOD10



チェックデジット2桁 : MOD10/MOD11

4.20.5. チェックデジットの送信



*送信



送信しない

注 : 有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 2 バイトのチェックデジットを引いてから、最小の読取長さより小さい場合、読取失敗になります。

例 : MSI-Plessey の最小読取長さを 4 バイトに設定、チェックデジットを送信しない場合、総長さは 4 バイトの MSI-Plessey バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.21. PDF417

4.21.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.21.2. 読取有効/無効



*有効



無効

注：PDF417 バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読み取っててください。

4.21.3. バーコードの読取長さの設定

長さは設定した最小から最大間の PDF417 バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：PDF417 コードデータの最大長さは 65535 バイトを超えてはいけません。且つ、最大長さは最小長さより大きい必要があります。固定長さの PDF417 バーコードを読み取りたい場合、最大長さと最小長さを同じように設定してください。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの PDF417 コードを読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読み取
2. 「最小長さ」バーコードを読み取
3. 数字バーコード「8」を読み取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読み取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読み取
6. 数字バーコード「1」を読み取
7. 数字バーコード「2」を読み取
8. 「保存」バーコードを読み取
9. 「設定完了」バーコードを読み取

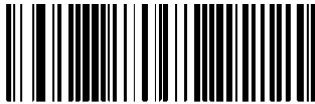
4.21.4. PDF417ダブルコード

上下または左右並べの二つ PDF417 コードです。二つの PDF417 コードの方向は同じ必須、差異と距離はできるだけ小さくしたほうが良いです。

シングル PDF417 コードを読み取：一回に一つの PDF417 コードしか読み取できません。

ダブル PDF417 コードを読み取：一回に二つの PDF417 コードを検出・解析できてからバーコードデータを送信できます。

シングル・ダブル PDF417 コードを読み取：一回に一つの PDF417 コードを検出・解析できても、二つの PDF417 コードを検出・解析できてもデータを送信できます。



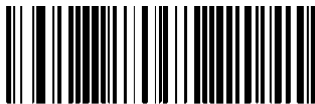
@PDFDOU0

*シングル PDF417 コードを読取



@PDFDOU1

ダブル PDF417 コードを読取



@PDFDOU2

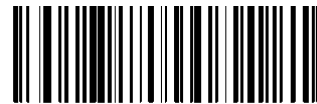
シングル・ダブル PDF417 コードを読取

4.21.5. キャラクターのエンコード方式



@PDFENC0

*デフォルト



@PDFENC1

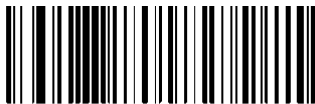
UTF-8



@PDFENC2

UTF-8 または Code Page 自動選択

4.21.6. ECIの出力



@PDFECI0

無効



@PDFECI1

*有効

4.22. QR Code

4.22.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.22.2. 読取有効／無効



*有効



無効

注：QR Code バーコードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.22.3. バーコードの読取長さの設定

長さは設定した最小から最大間の QR Code バーコードを読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：QR コードデータの最大長さは 65535 バイトを超えてはいけません。且つ、最大長さは最小長さより大きい必要があります。固定長さの QR コードを読取りたい場合、最大長さと最小長さを同じように設定してください。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの QR コードを読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「最小長さ」バーコードを読取
6. 数字バーコード「1」を読取
7. 数字バーコード「2」を読取

3. 数字バーコード「8」を読み取（付録-数字バーコードを参照）
4. 「保存」バーコードを読み取（付録-保存やキャンセルを参照）
5. 「最大長さ」バーコードを読み取
8. 「保存」バーコードを読み取
9. 「設定完了」バーコードを読み取

4.22.4. QRダブルコード

上下または左右並べの二つ QR コードです。二つの QR コードの方向は同じ必須、差異と距離はできるだけ小さくしたほうが良いです。

シングル QR コードを読み取：一回に一つの QR コードしか読み取できません。

ダブル QR コードを読み取：一回に二つの QR コードを検出・解析できてからバーコードデータを送信できます。

シングル・ダブル PDF417 コードを読み取：一回に一つの QR コードを検出・解析できても、二つの QR コードを検出・解析できてもデータを送信できます。



*シングル QR コードを読み取



ダブル QR コードを読み取



シングル・ダブル QR コードを読み取

4.22.5. キャラクターのエンコード方式



*デフォルト



UTF-8



UTF-8 または Code Page 自動選択

4.22.6. ECIの出力



無効



*有効

4.23. Micro QR Code

4.23.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.23.2. 読取有効/無効



有効



*無効

注：Micro QR コードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.23.3. バーコードの読取長さの設定

長さは設定した最小から最大間の Micro QR Code を読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：Micro QR Code データの最大長さは 65535 バイトを超えてはいけません。且つ、最大長さは最小長さより大きい必要があります。固定長さの Micro QR Code を読取したい場合、最大長さと最小長さを同じように設定してください。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Micro QR Code を読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読取 | 6. 数字バーコード「1」を読取 |
| 2. 「最小長さ」バーコードを読取 | 7. 数字バーコード「2」を読取 |
| 3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照） | 8. 「保存」バーコードを読取 |
| 4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照） | 9. 「設定完了」バーコードを読取 |
| 5. 「最大長さ」バーコードを読取 | |

4.24. Data Matrix

4.24.1. 工場出荷時設定に戻す



工場出荷時設定に戻す

4.24.2. 読取有効／無効



*有効



無効

注：Data Matrix コードを読み取れない場合、設定バーコード「有効」を読み取ってから、再度読取してみてください。

4.24.3. バーコードの読取長さの設定

長さは設定した最小から最大間の Data Matrix を読み取れるように設定できます。



最小長さ



最大長さ

注：Data Matrix Code データの最大長さは 65535 バイトを超えてはいけません。且つ、最大長さは最小長さより大きい必要があります。固定長さの Data Matrix Code を読取したい場合、最大長さと最小長さを同じように設定してください。

例：

最小長さを 8 バイト、最大長さを 12 バイトの Data Matrix Code を読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読取 | 6. 数字バーコード「1」を読取 |
| 2. 「最小長さ」バーコードを読取 | 7. 数字バーコード「2」を読取 |
| 3. 数字バーコード「8」を読取（付録-数字バーコードを参照） | 8. 「保存」バーコードを読取 |
| 4. 「保存」バーコードを読取（付録-保存やキャンセルを参照） | 9. 「設定完了」バーコードを読取 |
| 5. 「最大長さ」バーコードを読取 | |

4.24.4. ダブルData Matrixコード

上下または左右並べの二つ Data Matrix コードです。二つの QR コードの方向は同じ必須、差異と距離はできるだけ小さくしたほうがいいです。

シングル読取：一回に一つの Data Matrix コードしか読取できません。

ダブル読取：一回に二つの Data Matrix コードを検出・解析できてからバーコードデータを送信します。送信順番は上から下または左から右になります。

シングル及びダブル読取：先にダブルコードのチェックを行い、チェック成功の場合、ダブルコードのデータを送信します。チェック失敗の場合、シングルコードのデータを送信します。



* シングル読取



ダブル読取



シングル及びダブル読取

4.24.5. 矩形コード

長方形の Data Matrix コードを指しています。

無効：長さや幅のモジュール数は同じの正方形コード：10×10, 12×12...144×144。

有効：長さや幅のモジュール数は違う長方形コード：6×16, 6×14...14×22。



*有効



無効

4.24.6. キャラクターのエンコード方式



*デフォルト



UTF-8



UTF-8 または Code Page 自動選択

4.24.7. ECIの出力



無効



@DMCEC1

*有効

5. プレフィックス／サフィックスの設定

5.1. 一般設定

5.1.1. 全てプレフィックス／サフィックスの設定

全てプレフィックス／サフィックス無効：バーコードデータを解析後にバーコードデータしかありません。

全てプレフィックス／サフィックス有効：解析さればバーコードデータの前後に「Code ID プレフィックス」、「カスタムプレフィックス」、「AIM ID プレフィックス」、「カスタムサフィックス」、「終了サフィックス」を追加します。



全てプレフィックス／サフィックス無効



全てプレフィックス／サフィックス有効

5.2. プレフィックスの順番



Code ID + カスタムプレフィックス + AIM ID



カスタムプレフィックス + Code ID + AIM ID

5.3. カスタムプレフィックスの追加

カスタムプレフィックスはバーコードデータを解析する前に、ユーザカスタム文字列を追加します。

例：カスタムプレフィックスの追加を有効設定、且つプレフィックスを文字列「AB」に設定する場合、バーコードデータは「123」のバーコードを読み取ると、「123」の前に文字列「AB」が追加され、ホスト端末に「AB123」を受け取ります。



無効



有効

5.3.1. カスタムプレフィックスの変更

カスタムプレフィックスを変更するには設定バーコード「カスタムプレフィックスの変更」を読み取って、順番に設定したいプレフィックスの16進数データを読み取って、「保存」バーコードを読み取ります。

注：カスタムプレフィックス文字列の長さは10キャラクターを超えてはいけません。
キャラクターの範囲：0x00~0xFF。



カスタムプレフィックスの変更

例：

カスタムプレフィックスを「CODE」に設定(16進数データ：0x43/0x4F/0x44/0x45)：

1. 「設定開始」バーコードを読み取
2. 「カスタムプレフィックスの変更」バーコードを読み取
3. 順番に数字バーコード「4」「3」「4」「F」「4」「4」「4」「5」を読み取
4. 「保存」バーコードを読み取
5. 「設定終了」バーコードを読み取

上記通りに設定後に、「カスタムプレフィックスの追加」を「有効」にして、任意バーコードを読み取ると、バーコードデータの前にカスタムプレフィックス「CODE」を追加します。

5.4. AIM ID プレフィックス

AIM は Automatic Identification Manufacturers の略称です。AIM ID は各タイプのバーコードに識別コードを定義しています。具体的な定義は「5.3 AIM ID リスト」を参照してください。設定後にバーコードを読み取ると AIM ID は(バーコードデータの前に追加)されます。プレフィックスのフォーマット:「]+AIM プレフィックス+数字「0」。

例：Code 128 の AIM ID プレフィックスは「]C0」です。



無効



有効

注：AIM ID は変更できません。

5.5. Code ID プレフィックス

「AIM プレフィックス」以外に「Code ID プレフィックス」を使ってもバーコードタイプを識別できます。AIM プレフィックスと違うのは各バーコードタイプの Code ID プレフィックスはカスタム設定できます。全てのバーコードタイプの Code ID は 1 ～ 2 キャラクターであり、且つ英字でないといけません。



無効



有効

5.5.1. 工場出荷時のCode IDに戻す



工場出荷時の Code ID に戻す

5.5.2. Code IDの変更

Code ID の変更と工場出荷時の Code ID に戻すについて、下記の例を参照してください。

例：

PDF 417 の Code ID を「p」に変更（16進数は 0x70）

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「PDF417」バーコードを読取（「5.4 Code ID リスト」を参照）
3. 順番に数字バーコード「7」「0」を読取
4. 「保存」バーコードを読取
5. 「設定終了」バーコードを読取

PDF417 を含めて全てバーコードの Code ID を工場出荷時に戻す：

1. 「設定開始」バーコードを読取
2. 「工場出荷時の Code ID に戻す」バーコードを読取
3. 「設定終了」バーコードを読取

4.5.2.1 一次元バーコードの Code ID の変更



@CID002

Code 128



@CID003

GS1-128(UCC/EAN-128)



@CID004

EAN-8



@CID005

EAN-13



@CID006

UPC-E



@CID007

UPC-A



@CID008

Interleaved 2 of 5



@CID009

ITF-14



@CID010

ITF-6



@CID011

Matrix 2 of 5



@CID013

Code 39



@CID015

Codabar



@CID017

Code 93



@CID023

ISSN



@CID024

ISBN



@CID025

Industrial 25



@CID027

Plessey



@CID028

Code 11



@CID029

MSI Plessey

4.5.2.1 二次元コードの Code ID の変更



@CID032

PDF 417



@CID033

QR



@CID043

Micro QR



@CID035

Data Matrix

5.6. カスタムサフィックスの追加

カスタムサフィックスは解析されたバーコードの最後にカスタム文字列を追加します。

カスタムサフィックスの追加を有効設定、且つサフィックス文字列を「AB」に設定する場合、バーコードデータは「123」のバーコードを読み取ると、「123」の最後に文字列「AB」が追加され、ホスト端末に「123AB」を受け取ります。



無効



有効

5.6.1. カスタムサフィックスの変更

カスタムサフィックスを変更するには設定バーコード「カスタムサフィックスの変更」を読み取って、順番に設定したいサフィックスの16進数データを読み取って、「保存」バーコードを読み取ります。

注：カスタムサフィックス文字列の長さは10キャラクターを超えてはいけません。



カスタムサフィックスの変更

例：

カスタムサフィックスを「CODE」に設定(16進数データ：0x43/0x4F/0x44/0x45)：

1. 「設定開始」バーコードを読み取
2. 「カスタムサフィックスの変更」バーコードを読み取
3. 順番に数字バーコード「4」「3」「4」「F」「4」「4」「4」「5」を読み取
4. 「保存」バーコードを読み取
5. 「設定終了」バーコードを読み取

上記通りに設定後に、「カスタムサフィックスの追加」を「有効」にして、任意バーコードを読み取ると、バーコードデータの最後にカスタムサフィックス「CODE」を追加します。

5.6.2. パッケージフォーマット

フォーマット：[STX + ATTR + LEN] + [AL_TYPE + DATA] + [LRC]

STX: 0x02

ATTR: 0x00

LEN: データの長さ、2つのバイトになります。値の範囲：0~65535。

AL_TYPE: 0x36

DATA: データ内容

LRC: チェックキャラクター

LRC チェックキャラクターのアルゴリズム： $0xFF \wedge LEN \wedge AL_TYPE \wedge DATA$ (\wedge は XOR)、全てのデータはバイト単位で XOR します。0xFF と LEN の一番目バイトで XOR して、一バイトのデータが生成され、次に LEN の二番目のバイトで XOR して、最後の

データを XRO 完了するまで繰り返します。最後に取得した 1 バイトはチェックキャラクターです。

フォーマット二 : [STX + ATTR + LEN] + [AL_TYPE] + [Symbology_ID + DATA] + [LRC]

STX: 0x02

ATTR: 0x00

LEN: Symbology ID + DATA データの長さ、2つのバイトになります。値の範囲 : 0~65535。

AL_TYPE:0x3B

Symbology_ID : シンボル ID、1つのバイトになります。(シンボル ID は付録の「シンボルリスト」を参照)

DATA : データ内容

LRC : チェックキャラクター

LRC チェックキャラクターのアルゴリズム: $0xFF^{\wedge}LEN^{\wedge}AL_TYPE^{\wedge}Symbology_ID^{\wedge}DATA$ (^は XRO)、全てのデータはバイト単位で XRO します。0xFF と LEN の一番目バイトで XRO して、一バイトのデータが生成され、次に LEN の二番目のバイトで XRO して、最後のデータを XRO 完了するまで繰り返します。最後に取得した 1 バイトはチェックキャラクターです。

5.7. 終了キャラクターサフィックスの追加

終了キャラクターサフィックスは全てのデータ送信完了を表します。終了キャラクターサフィックスは独立の存在で、他のデータフォーマットの処理を関与しません。終了キャラクターサフィックスは必ず送信したデータの最後にあります。終了キャラクターサフィックスの後にデータが存在しません。



無効



有効

5.7.1. 終了キャラクターサフィックスの変更

「終了キャラクターサフィックスの変更」を読み取って、順番に設定したいサフィックスの 16 進数データを読み取って、「保存」バーコードを読み取ります。

注 : カスタムサフィックス文字列の長さは 2 キャラクターを超えてはいけません。



終了キャラクターサフィックス変更



終了キャラクターサフィックスを<CR>(0x0D)に変更



@TSUSET0D0A

終了キャラクターサフィックスを<CR> <LF>(0x0D,0x0A)に変更

6. 付録

6.1. 数字バーコード

数字バーコードを読取後に「保存」バーコードを読取して、設定を保存できます。

0~9



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

A~F



A



B



C



D



E



F

6.2. 保存やキャンセル

設定バーコードを読取後に「保存」バーコードを読み取らないと保存されません。読取にはエラーが発生した場合は、改めて設定するか、設定をキャンセルすることができます。

例：設定バーコードを読み取ってから、順番に数字バーコード「1」、「2」、「3」を読取します。

- ① 「直前に読取した1桁のデータをキャンセル」を読み取ると、数字「3」がキャンセルされます。
- ② 「直前に読取した一連のデータをキャンセル」を読み取ると、データ「123」はキャンセルされます。
- ③ 「現在の設定をキャンセル」を読み取ると、設定バーコードを含めてキャンセルされます。

注：この時、AsReaderは設定開始の状態です。



保存



現在の設定をキャンセル



直前に読取した1桁のデータをキャンセル



直前に読取した一連のデータをキャンセル

6.3. AIM ID リスト

シンボル	AIM ID	AIM ID 修飾文字 (m)
Code 128]C0	
GS1-128 (UCC/EAN-128)]C1	
EAN-8]E4	
EAN-8 with Addon]E4	
EAN-13]E0	
EAN-13 with Addon]E3	
UPC-E]E0	
UPC-E with Addon]E3	
UPC-A]E0	
UPC-A with Addon]E3	
Interleaved 2 of 5]Im	0, 1, 3
ITF-14]Im	1, 3
ITF-6]Im	1, 3
Matrix 2 of 5]X0	
Code 39]Am	0, 1, 3, 4, 5, 7
Codabar]Fm	0, 2, 4
Code 93]G0	
ISSN]X0	
ISBN]X0	
Industrial 25]S0	
Plessey]P0	
Code 11]Hm	0, 1, 3
MSI Plessey]Mm	0, 1
PDF417]Lm	0, 1, 2, 3, 4, 5
QR Code]Qm	0-6
Data Matrix]dm	0-6
Micro QR]Q1	

参考資料 : ISO/IEC 15424 : 2008 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - Data Carrier Identifiers (including Symbology Identifiers)

6.4. Code ID リスト

シンボル	Code ID
Code 128	j
GS1-128 (UCC/EAN-128)	j
EAN-8	d
EAN-13	d
UPC-E	c
UPC-A	c
Interleaved 2 of 5	e
ITF-14	e
ITF-6	e
Matrix 2 of 5	v
Code 39	b
Codabar	a
Code 93	i
ISSN	g
ISBN	B
Industrial 25	I
Plessey	n
Code 11	H
MSI Plessey	m
PDF417	r
QR Code	s
Data Matrix	u
Micro QR	X

6.5. シンボル ID リスト

シンボル	ID
Code 128	002
GS1-128 (UCC/EAN-128)	003
EAN-8	004
EAN-13	005
UPC-E	006
UPC-A	007
Interleaved 2 OF 5	008
ITF-14	009
ITF-6	010
Matrix 2 of 5	011
Code 39	013
Codabar	015
Code 93	017
ISSN	023
ISBN	024
Industrial25	025
Plessey	027
Code11	028
MSI-Plessey	029
PDF417	032
QR Code	033
Data Matrix	035
Micro QR	043

6.6. ASCII リスト

16進数	10進数	キャラクター
00	0	NUL (Null char.)
01	1	SOH (Start of Header)
02	2	STX (Start of Text)
03	3	ETX (End of Text)
04	4	EOT (End of Transmission)
05	5	ENQ (Enquiry)
06	6	ACK (Acknowledgment)
07	7	BEL (Bell)
08	8	BS (Backspace)
09	9	HT (Horizontal Tab)
0a	10	LF (Line Feed)
0b	11	VT (Vertical Tab)
0c	12	FF (Form Feed)
0d	13	CR (Carriage Return)
0e	14	SO (Shift Out)
0f	15	SI (Shift In)
10	16	DLE (Data Link Escape)
11	17	DC1 (XON) (Device Control 1)
12	18	DC2 (Device Control 2)
13	19	DC3 (XOFF) (Device Control 3)
14	20	DC4 (Device Control 4)
15	21	NAK (Negative Acknowledgment)
16	22	SYN (Synchronous Idle)
17	23	ETB (End of Trans. Block)
18	24	CAN (Cancel)
19	25	EM (End of Medium)
1a	26	SUB (Substitute)
1b	27	ESC (Escape)
1c	28	FS (File Separator)
1d	29	GS (Group Separator)
1e	30	RS (Request to Send)
1f	31	US (Unit Separator)
20	32	SP (Space)
45	69	E
46	70	F
47	71	G
48	72	H
49	73	I
4a	74	J
4b	75	K

4c	76	L
4d	77	M
4e	78	N
4f	79	O
50	80	P
51	81	Q
52	82	R
53	83	S
54	84	T
55	85	U
56	86	V
57	87	W
58	88	X
59	89	Y
5a	90	Z
5b	91	[(Left / Opening Bracket)
5c	92	¥ (Back Slash)
5d	93] (Right / Closing Bracket)
5e	94	^ (Caret / Circumflex)
5f	95	_ (Underscore)
60	96	' (Grave Accent)
61	97	a
62	98	b
63	99	c
64	100	d
65	101	e
66	102	f
67	103	g
68	104	h
69	105	i
6a	106	j
6b	107	k
6c	108	l
6d	109	m
6e	110	n
6f	111	o
70	112	p
71	113	q
72	114	r
73	115	s
74	116	t
75	117	u
76	118	v
77	119	w

78	120	x
79	121	y
7a	122	z
7b	123	{ (Left / Opening Brace)
7c	124	(Vertical Bar)
7d	125	} (Right / Closing Brace)
7e	126	~ (Tilde)
7f	127	DEL (Delete)